

令和2年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 竹内 寛泰

(学校教育目標)
命を大切にし、自主的・自立的・創造的な力を備え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

校訓
強 く…強い意志と強健な身体を育む
正 しく…正しい人権意識と生き方を培う
美 しく…美しく豊かな心と創造性を養う

学級数	生徒総数	教職員数
3	33	13

令和2年度
重点課題

- ・子どもの命を守り抜く教育の推進・充実
- ・わかる授業のさらなる展開
- ・郷土愛を育む教育の推進・充実
- ・ワークライフバランスを意識した働きがいのある職場環境づくりの推進
- ・人材育成が常にできる学校風土の醸成

めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- ・自他の人権を尊重する生徒
- ・思いやりのある心豊かな生徒
- ・たくましく生きる生徒
- ・粘り強く、誠実に努力する生徒

重点目標	評価項目	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策
子どもの命を守り抜く教育の推進・充実	・いじめを許さず、全ての生徒が安心して通うことのできる学校である。	・生徒会いじめ防止委員会を中心にいじめ防止の広報活動を行い、スマホによるトラブル防止に取り組む。	A	A 自他の命を大切にし、いじめを許さない風土が醸成されてきた。全体的に望ましい生活習慣が確立されている。
	・生徒個々が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を確立する。	・振り返り手帳の活用と個に応じた指導や声かけを励行する。 ・生活アンケートを月1回実施し把握する。	A	
わかる授業のさらなる展開	・学力向上及び個に添った学力向上の充実に取り組む。	・放課後、全職員による質問教室を実施する。 ・本時の目標を明確に生徒に周知するとともに授業の最後には本時の振り返りを行う。	B	B 本時の目標の周知や振り返りを行い、T.T や個別支援を行った。オンライン学習によってアメリカの大学や他校との交流を図り主体的に学ぼうとする力を養った。
	・職員研修の充実させ、授業改革を図る。	・ICTの研修 ・研究授業・授業公開	A	
郷土愛を育む教育	・三島の自然・歴史・文化を学ぶ機会を増やし、三島の良さを職員・生徒が認識する。	・小中合同の行事を充実させる。 ・地域行事に必ず職員が参加する。	B	B コロナ禍の状況にあり、地域の行事に全て参加できなかった。感染対策を図りながら、小中合同の木工教室や防災学習、陶芸活動等を行い郷土愛を育んだ。
	・三島が「好き」と言える生徒を育てる教育活動を推進する。	・地域の人材を活用する。 ・自然・文化等に直接ふれる機会を持つ。 ・防災学習を充実させる。	A	
働きがいのある職場環境づくりの推進	・会議を精選する。	・「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「いつてらっしゃい」「ただいま」が飛び交う職員室にする。	A	A 温かいあいさつが飛び交い常に報・連・相ができる雰囲気できた。朝の職員会を充実させ、会議を精選した。
	・風通しのよい職場環境をつくり、職場の協働・同僚性を高める。	・常に報・連・相ができる雰囲気をつくる。 ・クリーンデスク	A	
人材育成が常にできる学校風土の醸成	・OJT を効果的に機能させる。	・若手とベテラン教員が共に働き、学びながら研修を深め教員の資質向上につなげる。	B	B 研究授業を行ったり、PBS やICT 研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

(評価基準：A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

◆学校関係者評価委員会の評価

新型コロナウイルスの感染症防止に努め、子どもたちの教育を充実させるため、できることを工夫しながら学校活動を進められている。子どもたちは素直で優しく、気持ちのいい挨拶もできており、学校全体が落ち着いている。また、小中の連携を図り、各行事の充実が見られた。

◆評価結果と次年度についての校長所見

制限がある中ではあったが、感染症対策を徹底し、ICT を取り入れながら実りある活動を職員と協働し、実施することができた。命を大切に、いじめのない学校づくりを来年度も努めていく。引き続き「三島を好きになる学習」を推進し、生徒一人一人がよりよく生きていくための活動を増やしていきたい。